

授業科目名・形態	日常生活支援技術演習Ⅱ（身支度） 演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	松下 美樹	開講期	1年後期	単位数 1

【授業の主題】

「尊厳保持」の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出し、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について学習する。生活支援技術論Ⅰの人体の基本的学習内容を踏まえ、自立に向けた身じたくの介護を習得する。

【到達目標】

- 1) 自立に向けた身じたくの意義や目的を理解する。
- 2) 利用者の状態・状況に応じた身じたくの介助の留意点を理解する。
- 3) 関連職種の身支度に関する役割や連携について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 生活の中の身じたくを考える
- 第2回 身じたくの意義と目的
- 第3回 身じたくにおける ICF の視点とアセスメント
- 第4回 身じたくにおける介護技術とは
- 第5回 身じたくにおける介護技術 ①整容
- 第6回 身じたくにおける介護技術 ②整容行為における介護の実際
- 第7回 身じたくにおける介護技術 ③口腔ケアと口腔体操
- 第8回 身じたくにおける介護技術 ④口腔ケアにおける介護の実際
- 第9回 身じたくにおける介護技術 ⑤衣服を着用する目的
- 第10回 身じたくにおける介護技術 ⑥衣服の種類と選択及び視点
- 第11回 身じたくにおける介護技術 ⑦衣服着脱における介護の実際
- 第12回 機能低下及び障害がある場合の衣服の着脱介護 1
- 第13回 機能低下及び障害がある場合の衣服の着脱介護 2
- 第14回 生活・社会性の拡大に向けた身じたくの自立
- 第15回 関連職種の役割と連携

【授業実施方法】

実技、グループワーク、ビデオ等演習形式とする。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】

介護の基本、介護総合演習、生活支援技術論

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 生活支援技術Ⅱ 第3版 中央法規出版

【参考文献】

適宜配布する。

【成績評価方法】

技術チェック・後期定期試験 90%、出席状況・授業参加姿勢 10%で評価。

【学生へのメッセージ】

対象者の個別性の理解につとめ、積極的に基本技術を習得しましょう。